

環境振動運営委員会 第2回議事録(案)

- A. 日時 2014年6月30日 月曜日 17:30~19:30
 B. 場所 建築学会 306会議室
 C. 出席者 横山主査 他11名
 D. 提出資料(提出委員名)
 No.2-00 前回議事録案
 No.2-01 環境工学本委員会報告
 No.2-02 環境振動予測解析小委員会活動報告
 No.2-03 環境振動測定分析小委員会活動報告
 No.2-04 環境振動企画WG活動報告

E. 議事内容

0. 前回議事録確認(資料No.2-00)
 承認された。

1. 環境工学本委員会報告 / 環境工学本委員会 6/5 開催報告(資料No.2-01)

報告事項

- ・2015年度大会は、9月4日~6日に東海大学湘南キャンパスで開催される。
- ・2014年度大会の環境工学の発表件数は1299題である。
- ・2014年度大会研究協議会(9/13 14:00~17:20) 都市再生における環境工学の役割
- ・2014年度大会研究懇談会(9/12 13:30~17:00) 今後の環境工学を担う若手研究者—私の研究スタイル(奨励賞受賞者)

審議事項

- ・AIJES-V001-2004が制定から5年を経過するAIJESに含まれる。
 →近い将来、改訂しますと回答する。
- ・委員の委嘱・解嘱について全て承認された。
 - 環境振動予測解析小委員会
 - 解嘱 高津 熟 委員
 - 委嘱 佐野泰之 委員
 - 居住性能評価指針改定小委員会
 - 委嘱 井上勝夫 委員
 - 環境振動設計小委員会
 - 委嘱 井上勝夫 委員

2. 各小委員会・WG活動報告

2-1. 環境振動予測解析小委員会活動報告(資料No.2-02)

- ・4/21,6/16開催分について、資料に基づく報告があった。
- ・1996~2010大会梗概(環境振動セッション)要約シートのグループの分類を行った。
- ・グループごとに進めている。

2-2. 環境振動測定分析小委員会活動報告(資料No.2-03)

- ・5/22開催分について、資料に基づく報告があった。
- ・鉄道振動を対象とした高架化前後の測定結果を再分析し、測定点近傍における人の有無による影響について、AIJ大会2014に投稿した。
- ・振動測定経験者へのアンケートを再分析し、さらに新アンケートとして、例題物件を

決め、振動測定経験者への追加のアンケートを実施することを議論している。対象は、振動測定経験が少ない方への基本的測定案とする。

- ・ 建築性能、絶対評価の両面の測定方法案を検討している。

2-3. 環境振動性能評価小委員会報告

- ・ 5/12 開催分について、報告があった。
- ・ 内容は次回の運営委員会にて報告予定。

2-4. 性能評価法検討 WG 活動報告

- ・ 5/23 開催分について、報告があった。
- ・ 指針の改定に向けて収集した知見を整理する。次回は 9/8 に開催。
- ・ 作業と方向性を検討の上、居住性能評価指針改定小委員会を開催する。

2-5. 環境振動企画 WG 活動報告 (料 No.2-04)

- ・ 昨年度 32 回シンポジウムの続きの内容とする。
- 内容については、承認された。タイトルについては、再検討することになった。

3. 次年度建築学会大会 OS について

横山主査から、次年度大会 OS について提案があった。

議論の結果、以下のように決まった。

- ・ セッション名は、外部振動源による地盤振動と建物応答
- ・ 地盤振動と建物内の両方の測定データをもとに、議論を深める。
- ・ OS の原稿〆切は 2 月。

・ 年間開催予定

- | | | | |
|------|----------------------|-------------------|-------------------|
| 3 回目 | 2014 年 09 月 22 日 (月) | 17 : 30 ~ 19 : 30 | 建築会館 |
| 4 回目 | 2014 年 12 月 01 日 (月) | 17 : 30 ~ 19 : 30 | 建築会館 |
| 5 回目 | 2015 年 01 月 30 日 (金) | 10 : 30 ~ 12 : 00 | 建築会館 |
| | 同日 | 第 33 回環境振動シンポジウム | 13 : 30 ~ 18 : 00 |

以上